

伝統工芸「八雲塗」の技法を活かした 漆器の販路拡大及び新用途開発



Yakumonjuri

島根県松江市は山陰のほぼ中央に位置する。藩のお抱え箆職人の家に生まれた坂田平一が始めた八雲塗は松江の名産品として親しまれている。

株式会社山本漆器店は明治23年の創業以来、伝統工芸である八雲塗を守り、今の時代に伝えてきた。

「バブル崩壊後に経済が冷え込み、我々伝統産業も衰退の一途をたどり



代表取締役 山本 隆志

略歴／昭和11年生まれ。同38年山本漆器店(明治23年創業)入社。同44年株式会社山本漆器店設立、代表取締役就任。

伝統の技を活かして 新たな魅力を生む

今回認定を受けたのは、伝統の八

ました。漆は非常に特殊な塗料と、職人の技術が必要なため、昔は城下町に漆の産地が集中していた。その中の一つが松江であり、八雲塗は非常に貴重な伝承遺産なのです。何とか守らねば」と思った時に経済産業省の支援を知り、名乗りを上げました」と代表取締役の山本隆志さん。

「従来の八雲塗で作ったようなものではなく、もっと違うものを作ろう」と考えついたのは、万年筆に関するグッズ。たまたま私の友人が万年筆のコレクターで「こういう世界を漆でやってみたら?」とアドバイスをもたらしたこともあり、やってみようということになったんです」

雲塗にエンドユーザーの発想を加えて生まれた「丸溝トレイ」「万年筆印籠」「漆塗万年筆スタンド」の三商品。

「丸溝トレイ」は、机上で文字を書いている最中に万年筆を休めるために。「漆塗万年筆スタンド」は愛用の万年筆を大切に、より美しく保管するために。「万年筆印籠」は万年筆を携帯する折に。それぞれ万年筆を使うシチュエーションに合わせてライナップが揃った。三商品にも多くの万年筆愛好者の協力を得て、何度も試作を重ねて完成させた商品なのだそう。

「どれも伝統の八雲塗で仕上げた、国産漆ならではのしっとりとした艶のある逸品です。よく乾燥した天然木に下地をしつかりと施し本漆を三度塗り、さらに職人が炭研ぎをして仕上げています。丁寧な手仕事で製

造していますからとても丈夫。どんな普段遣いしてもらいたい品です。「深い漆黒の手触りが魅力」と万年筆愛好家の方からも大変高い評価をいただきました。使ううちに少しづつ漆の変化も味わっていただけると一生モノの値打ちある品が完成したと自負しています」

三商品には、万年筆愛好家すなわちエンドユーザーの発想・視点が十二分に反映されている。

「トレイの形も用途も、我々漆器屋が考えた発想ではなく、ユーザーの考え。好きな人が自分で設計したものをインターネットを通じて相談し、ああ、そういう物があれば買うよ」と消費者の購入心理を調べて、渡された図面を八雲塗で完成させたのです。これまでは明治時代からの成功体験に基づいて商品を作っていた。漆器とはこういうものだと、型

事業概要

にはまった商品を並べていたんです。エンドユーザーの心をキャッチしていなかったが、今事業はエンドユーザー側の発想で作った。そこが新しい」

産地主導ではない、使う方の気持ちに寄り添った商品づくりは、今後の商品開発のヒントとなるのではないだろうか。

ユーザー目線を活かした 商品づくりを

確かな伝統息づく商品は、大手百貨店など厳しい目利きのバイヤーからも高い評価を集めている。大手百貨店などが注目してくれることで、販路拡大以外にもさらなる付加価値を高めるチャンスになるのでは、と今後の展開に期待している。

「販路の拡大もそうですが、幅広い世代に受け入れられる商品づくりがいちばんの課題。今回の経験により、食器や車の内装など別な業界との連携という夢も生まれました。これからもユーザーの声に耳を傾けた商品開発で、八雲塗のユーザーの裾野を広げていきたいと思っています」

Information



売れる商品づくり

競争力 開発商品は現在のところ、競合するものがない。当地域独自の八雲塗技法により十分な差別化が可能。

市場性 開拓する新規市場は、高級品や本物志向のエンドユーザーの裾野は広く、大都市圏はもとより全国、そして漆器(Japan)のコンセプトで世界市場に通じる。漆は口入で環境にやさしい塗りの素材として健康や環境に関心が高い層にも訴求力が高い。本物志向の商品は高い付加価値があり、高価であってもニーズは十分にある。

販路 専門性が高いこだわりのある顧客がグッズや関連商品に漆塗りを活用したい場合をターゲットに販売を行い、需要開拓手法としてエンドユーザーへ直接PRするネット取引を有効活用する。すでに取引している新宿伊勢丹等の大手百貨店や日本橋丸善等の大型専門店については、販売だけでなく情報発信やそこから商品の更なる付加価値とブランドを高めるツールとしても利用する。

地域資源における

関係事業者との連携

新商品等の開発におけるしまね産業振興財団との連携など。

株式会社 山本漆器店

所在地 ●島根県松江市末次本町 45
TEL ● 0852-23-2525
URL ● http://www.machilab.net/shop_80392.html
設立 ●昭和44年5月10日
資本金 ●1,500万円
従業員数 ●4人、塗師3人

●会社事業内容
万年筆関連商品の製造、販売、修理。伝統の八雲塗にエンドユーザーの発想を加えて生まれた「丸溝トレイ」「万年筆印籠」「漆塗万年筆スタンド」の三商品が好評を博している。さらなる販路の拡大、異分野との連携を目指す。

【活用する資源】

八雲塗

【地域】
島根県松江市
【認定日】
平成19年10月12日
【認定行政庁】
経済産業省



島根県